

長浜市病院事業改革プラン評価委員会（令和４年度 第２回）会議録

開催日時 令和５年１月１９日（木） １５：３０～１７：３０
開催場所 市立長浜病院２階講堂
出席委員 橋本副委員長、嶋村委員、服部委員
（オンライン）大谷委員長、今中委員、三浦委員、鵜飼委員
オブザーバー 野村長浜市地域医療課長
事務局 高折病院事業管理者（兼市立長浜病院院長）
（市立長浜病院） 小室副院長、高島副院長、田久保診療局長、古山医療技術局長、
弓削看護局長、藤居事務局長、嶋事務局理事、
徳田地域医療連携室長、野淵副薬剤長、中村医療安全管理室次長、
森総務課長、伊藤医事課長、細川がん対策推進室長
総務課：雨森課長代理
経営企画課：三原課長、田口主幹、馬場主査、速水主事
（長浜市立湖北病院） 納谷院長、富樫副院長、前田看護局長、熊河医療技術局長、
桐畑事務局長（管理課長）、山根老健課長、
管理課：村上副参事、松井副参事、杉森副参事、横井主事

１．開会

２．高折病院事業管理者あいさつ

３．議事

（１）令和４年度上半期収支状況、令和４年度決算見込と改革プランとの比較について

【市立長浜病院の概要】 ～長浜病院事務局から説明～

委員長 ６ページ令和４年度決算見込みの累積欠損金７２億と記載されていますが、正しいでしょうか。昨年は５５億で、黒字になっているので累積欠損金は減ると思うのですが。

事務局 間違っていますので、訂正させていただきます。資料を修正し後日送付致します。

委員長 補助金は半分以下に減ってしまうのですね。

事務局 その予定です。

委員長 令和４年度決算見込の減価償却費が９億４千７百万でプランと乖離していますが、何か買わなかったものがありますか。

事務局 プラン作成時に購入を予定していた高額機器のリニアックや手術用ロボットを購入していない為、差異が出ています。

委員長 8ページの表に経常収支比率は記載されていますが、医業収支比率が記載されていないので、記載した方がよいと思います。それと、病床の休床は何床ですか。

事務局 新型コロナ感染症患者の受け入れに伴う看護師確保等が必要になりまして、94床が休床です。

委員長 回復期病床の利用率はプラン80.8%で決算見込が69.2%なので、もう少し利用率上がるといいんですが。

委員 新型コロナの診療費とかワクチン接種の報酬はどの欄に計上されていますか。

事務局 調べて回答させていただきます。

委員 年末年始につきましては、両病院におかれましては救急の対応をしていただきありがとうございます。又、医師会の先生におかれましては、休日急患診療所の対応ありがとうございます。新型コロナ患者だけではなく、救急患者の方など、政策医療について責任持って対応していただきお礼を申し上げます。今後、新型コロナが5類に分類するという議論がなされています。5類に分類されると、当然補助金も減額されることが想定されますので、今後のキャッシュフローを含めて、資金の効率的な運用を検討頂きたい。

事務局 貴重なご意見いただきありがとうございます。今は補助金で黒字化できていますが、今後は医療業績をもっと上げていかなければならないと認識しています。先ほど委員長からご指摘があった回復期病床ですが、コロナ病床に看護師など人員を移しており、回復期病床に十分な人員を配置できていないため利用率があがっていないのが現状です。今後はスイッチを切り替えて、回復期病床にも注力し利用率を上げていくという計画をしています。

委員 8ページの表の入院患者数など、プランとの乖離があるのは、先ほどからご説明の新型コロナ患者受け入れの影響だと思いますが、臨機応変に現状の目標をたてられて運用されていると思いますが、現状の目標やどのようにベットコントロールされているのかなど、経営的視点をお聞かせ願いたい。後ほど説明があるのでしたら、それでも結構です。

事務局 後ほど令和4年度上半期の取組の中で説明いたします。

【長浜市立湖北病院の概要】 ～湖北病院事務局から説明～

委員 先ほどの長浜病院と重複するかもしれませんが、ポストコロナの事業戦略が重要に

なってくると思います。受診控えが当たり前になってくると収入が上がってこないのかなと思います。本来は早期発見、早期治療が大切ですし、必要な治療は受けてもらわないといけない。特に山間部を対象にしている湖北病院は、受診してもらうのが不利な部分があるので、受診控えしないで早期発見、早期治療してもらえようという啓発が重要ではないかと思いますが、長浜市もご協力いただけるといいと思います。

事務局 受診控えというのは、もう戻らないというのをベースに、その上でどうやって収益を伸ばしていくかを考える段階だと認識しています。後ほど改革プランで説明があると思いますが、収益や病床稼働率の目標値を設定し、それに向けて努力していきます。目標値をクリアしている項目もあるが、コロナのクラスターが発生すると、一気に病床稼働率などが下がってしまうのが現状で、今後はそれを克服しなければならない。

委員 先ほど、コロナの医業収益がどのように反映されているのかをお聞きしたのは、コロナ補助金は、減った収益に対する補助ではなく、コロナ対応を行った報酬・補助でなければいけないと思います。

事務局 補助金の決め方というのは、我々もわからないところではありますが、この補助金が正当に分配されているかというところで、色々議論は出ています。両病院については、コロナ対策について、相当な労力を割いており、一部で言われているような、補助金だけ貰ってしっかりやっていないという批判は、両病院には当てはまらなないと自信を持っています。日々の入院患者数を見ていると、クラスターが発生すると一気に下がります。その部分を補填してもらっているという理解です。5類相当になって病棟閉鎖がなくなってくれば、コロナの少ない時期の業績は上手くいくと思っていますが、それに安心するのではなく、その上を目指してやる仕組みを考えなければならない。

委員 21ページの職員給与費比率の決算見込が93.1%と非常に高い見込になっており、19ページの職員給与費を見ても前年決算より5千万ほど多い見込になっていますが、コロナ対応で採用し医業収益に計上されない人件費が上がっているという認識でよろしいでしょうか。こういった背景があるのか教えていただきたい。

事務局 ワクチン接種や玄関トリアージなど職員だけでは対応しきれないので、会計年度任用職員を採用し対応しています。収益には表れないので、ご指摘のとおりです。

事務局 先ほどのコロナ関連の収益がどの欄に計上されているかというご質問ですが、6ページをご覧ください。コロナ患者の治療等は基本的に診療報酬になります。PCRセンターも同様です。ですので、料金収入の欄の入院収益又は外来収益に計上しています。コロナ補助金については、一例としては、現在一つの病棟をコロナ病棟に転用していますが、51床ある病床の最大26床使用し、25床は使用できない状況なので、それに対する補助金はいただいています。また、コロナ患者は高齢者が多く介護が必要

な場合があります、1名の看護師では対応しきれないので、複数名で対応することになり、他の病棟から看護師を配置し応援している。そういう場合は、他の病棟は入院制限を行っているので、そういった補助金をいただいて運用しています。

事務局 ワクチン接種の補助金（接種料）の関係は、昨年当院は1億3～4千万円のワクチン接種に関する収入がありました。昨年度については、高齢者を中心に長浜市、米原市から積極的に接種を行ってほしいとの要請でしたが、今年度は開業医で担えない部分で副反応などがあり病院で接種したほうがよい方などを病院で担っており、今年度の接種料は1千4百万程度になる予定です。

委員 ここ数年間はコロナ関連にご尽力いただき本当に頭が下がる思いです。先ほどからのコロナ補助金で長浜病院に戻りますが、6ページの表だと国（県）補助金の欄に計上されているということですか。昨年度は28億で今年度は13億の見込で、令和2年度も13億程度ですが、これは全てがコロナ補助金ですか。それとも他の補助金も混ざってますか。

事務局 コロナ補助金については、ご指摘のとおりその欄に記載されており、他の補助金もプラスされていますが、大半がコロナ補助金です。

事務局 昨年ですと、28億の内26億程度がコロナ補助金です。長浜病院だと1～2億が他の補助金で、湖北病院は過疎地医療に対する補助金なども計上されています。

事務局 湖北病院の昨年度は国（県）補助金として9億1千3百万円計上していますが、一番多いのは病床確保の補助金で7億7千万円あります。その他にワクチン接種の補助金や処遇手当の補助金があります。

（2）令和3年度の改革プラン「総括評価」について

【改革プラン評価委員会委員の意見に基づき追加した事項について】

～長浜病院事務局から説明～

委員長 これは委員の皆さんの意見を集約したのですが、いかがでしょうか。

委員 病床の確保や検査の受託など、どれを取っても湖北地域だけではなく、滋賀県全体の医療を救っていただいたと思います。本当にありがとうございます。特に地域外来検査センターは滋賀県の重点医療機関の中でもトップクラスの検査数を行っていただいています。長浜病院が地域の先生方と連携して検査をしていただいたのは、滋賀県内でもお手本になると思います。非常に感謝しています。ありがとうございます。

委員長 これで承認したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 異議なし

(3) 令和3年度を終期とする中期経営計画の期間全体の評価について

【改革プラン評価委員会委員の意見に基づきとりまとめた内容について】

～長浜病院事務局から説明～

委員 コロナ対応のことも含めて、地域を支える医療を大変なる実績を上げてこられて、大変すばらしいと思います。質問が2つあります。今後の展望のところで、全国の病院もそうなのですが、医師の働き方改革対応が非常に足かせになるようなこともあると思いますが、現状の見通しを教えていただけるとありがたい。もう一つは、湖北地域で地域医療構想の議論が再開しつつある。とありますが湖北地域の地域医療構想はどのような状況なのか教えていただきたい。今後の評価にも関わるとお思いますので伺います。

事務局 医師の働き方改革に関しましては、湖北病院は比較的残業時間が少ないので、極めて大きな問題にはならないだろうと思っています。長浜病院はかなり残業時間が多い医師、あるいは診療科がございまして、対応が必要だと考えています。具体的には、昨年から3つのワーキンググループを現場の医師を中心につくっています。医師の働き方改革はトップダウンで達成できるものではないので、現場の意見を集約して、対応していく取組を行っています。成果についても徐々に出ていまして、以前は年間1,650時間近い医師がいましたが、現在はほとんどの医師が月80時間以内になっています。ただ100時間以上ある診療科もあります。実は地域医療構想も医師の働き方改革に関連しています。100時間以上の残業がある診療科は地域医療構想と重ねて考えていく必要があるかなと考えています。

委員長 他にご意見ございますか。なければこれで承認したいと思いますが。

各委員 異議なし。

(4) 令和4年度を始期とする中期経営計画の評価方法について

令和4年度上半期の改革プラン「総括評価」について

【改革プラン評価委員会委員の意見に基づき改正した様式について】

～長浜病院事務局から説明～

委員 すでに評価項目がまとまっている段階ですが、病院の収益の中で一番ウエイトを占めているのが、入院の収益だと思いますので、収益に直結する目標は、もっと見える形で目標設定して、管理した方がいいのかなと感じました。新改革プランの趣旨が私も理解できていないのかもしれませんが、改革プランが始まったのは、公立病院が赤字の病院が多くて、何とかしなくてはならないということから始まったと思っています。令和4年度の評価シートは確かにいろいろと項目も整理されていて、分かりやす

くなっているなとは思ったんですが、令和3年度までやってこられた、収益を上げるいろいろな取組があったと思うんですが、こういうこともやってるよ。ていうのを見える形にした方が、しっかり経営改善に向けて病院が取り組んでいるなというのが分かっていいと思います。特に病院収益を上げる取組として、病床稼働率なのか入院患者数なのかわかりませんが、しっかり目標を立てて管理して、新入院患者数と平均在院日数が記載されていますが、目標がないので、収益に関連する項目については、しっかり目標を立てて見える形で管理していく方がいいのかなという印象を持ちました。

事務局 病院経営に関する事項について、目標設定がされていないというご指摘かと思いますが、追加をさせていただこうかと思っています。資料2の36ページ令和3年度総括の項目では新入院患者数は9,000人という目標設定がされています。もう一度院内で精査して、目標を設定したいと考えています。

【長浜市立湖北病院】 ～湖北病院事務局から説明～

委員 長浜病院と共通する質問になりますが、病院経営に関する事項のところで、目標設定がしていない項目は、どういう風に評価するのでしょうか。

事務局 中期経営計画で目標設定されていない項目は、目標値が記載されていません。中期経営計画の見直しをおこなっていく中で、検討していきたいと思っています。

委員 現段階では、評価しないということでしょうか。

事務局 プランとしては、目標設定できていませんが、日々の運用の中で設定するのか。プランとして記載するか今後検討したいと思っています。

委員 長浜病院も関係しますが、近年BCPが重要視されていますが、湖北病院はこれからつくられる予定で、長浜病院は評価がCとなっていますが、どちらもコロナの影響でお忙しくて手が回らないと想像しますが、今後の運用や準備についての予定はいかがでしょうか。

事務局 BCPにつきましては、年に1度の研修を行いたいと思っていたのですが、コロナの状況で控えている状況です。アクションカードにつきましては、138項目のカードがありますが、年度当初に年度に合ったように見直しをかけたいと思っていましたが、コロナ対応もあって今年度については手が回っていない状況です。来年度については、更新を行っていききたいと考えています。

委員 長浜病院にもう一つ質問ですが、産婦人科と小児科の医師確保が非常に難しい状況ですが、地域医療の確保の中で非常に難しいことなので、外から言えることではない

のですが、長浜赤十字病院と2病院が並び立っていることが、今後できることがあるかもしれないなと思えるのですが、産婦人科と小児科はどうなっていく見通しでしょうか。

事務局 ご心配いただいている件、これまでも対応を考えているところですが、昨年の6月に京都大学と滋賀医科大学から、両病院の同じ診療科に重複して派遣はできないとの要望がありました。診療科を再編して下さい。ということだと思います。現在、政策医療として長浜赤十字病院が産婦人科と小児科を運営し、医師を派遣されている状況で、当院に派遣いただける見込みは正直ありません。地域医療構想の中で、両病院が病院再編を行い、産婦人科と小児科を統合するということになると思います。当院もそれでよしとするのではなく、助産師の雇用を続けて人材を確保するなど、統合に向けて体制が整えられるように進めています。地域医療構想が進む中で、この問題を解決したいと思っています。

委員長 他に質問はありませんか。様式や令和4年度改革プラン上半期の内容について、改善点はあるかもしれませんが、承認いただけますか。

各委員 異議なし。

(5) 総務省が定める「公立病院経営強化ガイドライン」を踏まえた長浜市病院事業中期経営計画一部改定の見通しについて ～長浜病院事務局から説明～

委員長 ガイドラインに従って、今の改革プランに追加していくということですね。引き続き関係機関のみなさんで十分議論をおこなってください。

4. 今後の予定について

【市立長浜病院】 ～長浜病院事務局から説明～

5. 閉会

委員長 以上で本日の議事は全て終了いたしました。
これをもちまして、令和4年度第2回長浜市病院事業改革プラン評価委員会を終了させていただきます。

委員の皆様には、貴重なご意見ご指摘ありがとうございました。

以上（17:30 閉会）